

ネットワーク

平成27年9月
発行 下都賀地区生涯学習研究会
事務局 下都賀教育事務所
ふれあい学習課内
Tel 0282-23-3422
Fax 0282-23-3502
Mail:shimotsuga-kyouiku
@pref.tochigi.lg.jp

本年度最初にお届けする「ネットワーク39号」は、鈴木会長のごあいさつ、野木町立野木小学校の江田校長先生から小山市立間々田小学校の柏原先生にバトンパスされました「となりの社教主事」、そして、今夏、宇都宮大学や国立教育政策研究所社会教育実践研究センターにて社会教育主事講習を修了しました“ニューフェイス”の皆さんの御紹介を中心に御案内いたします。

今年度も“新たな仲間”をお迎えし、さらに下都賀地区の生涯学習を振興し、社会教育を力強く推進していきたいと考えております。これからも本会にお力添えをくださいますようお願いいたします。



ふれあい学習15年

下都賀地区生涯学習研究会 会長
壬生町立壬生中学校 校長 鈴木 正俊

平成13年度からスタートした「ふれあい学習」が、もはや15年目に突入した。

「ふれあい学習」発足当時、県教育委員会生涯学習課に勤務していて、まさに担当として今後の社会教育主事のあり方を検討していたことを思い出す。それまで、国の補助金で教員出身の社会教育主事を各市町に順に派遣する派遣社会教育主事制度を活用していた本県は、今後独自にどのような制度を確立し、生涯学習社会に対応していくのかが試されていた時期である。九州地方を中心に教育事務所に数名の社会教育主事を置き各市町への支援をする制度に着目し、8事務所に社会教育主事を置くことに決定し、まさに「ふれあい学習課」の創設であった。はじめは名称ばかりが先行し「ふれあい学習」って何？との質問が多かった。

あれから15年。まさか、立ち上げてすぐにそのふれあい学習課に勤務するとは夢にも思っていなかったが、その責任を一番先にとらされた感が今でもある。今後、ますます「ふれあい学習」が浸透推進されることを願う。



リレー「となりの社教主事33」 「地域とともに」～様々な人に支えられ～

小山市立間々田小学校 教諭 柏原 益志

平成18年の夏、講師の廣瀬先生から学んだことを思い出す。「『参加と協働』の本質は『我慢と負担』『責任と忍耐』であり、それを楽しみに変える力が社会教育である」ということだ。

先日、学校で民生委員さんとの懇談会があった。主任児童委員Aさんの話では「今の子ども達は、様々な問題を抱えている。民生委員が直接改善することは無理。地域のおじさん・おばさんとして関わっていくことが大切。まずは挨拶からはじめ、同じ住民であることを分かってもらう。家族や子どもを支えるとともに、親にとって何でも言える関係であってほしい」とのこと。

地域との連携は、子どもをよりよく育てるために重要である。実際、間々田小も学校支援ボランティアをはじめ、多くの方とのつながりを持っており、今後も関わりを深めていくことが大切であろう。

「協働」は簡単ではない。だからこそ、Aさんのような方との出会いを大切に、多くの問題に立ち向かっていきたい。

シリーズ「事例から学ぶ46」 「ようこそ、上野の社研へ。」

県立栃木翔南高等学校 教諭 手塚 博子

文科省国立教育政策研究所社会教育実践研究センター（以下、社研）に、今年4月から社会教育特別調査員として、1年間の内地留学をしています。この社研について、まだ数カ月間の勤務ではありますが、紹介をします。

大きく分けて3つの業務があります。

まず1つ目は、社会教育主事講習をはじめとする様々な講習を行っています。講習には、関東をはじめ全国各地から受講生が集まってきます。講習を通して学びを深めたり、交流を通して全国にネットワークを築いたりしていきます。

2つ目は、電話やメールでの社会教育などに関するレファレンスサービスです。情報収集を行ったり、各機関などに問い合わせをしたりして、遅くとも翌日までには回答をしています。講師の紹介なども行っています。

3つ目は、社会教育関係の調査研究を行っていて、その内容は、報告書やHPで紹介しています。



雑感「地域とのつながり」

下野市立南河内第二中学校 教諭 秋山 実

社会教育主事講習を受けたのは平成11年、あれから16年の時が経った。受講当時は盛んに学社連携とか学社融合という言葉がはやり、「子どもが学ぶのは学校だけではない」とか、地域の教育力を生かそうという機運に満ちあふれていた。

幸いこの地区は、地域の教育力も高く、また、保護者の教育熱も高いので、当時からいろいろな場面で保護者の協力を得られた。とりわけ、自治医科大学をかかえ、医師や看護師、薬剤師等医療従事者が多く、その分野に関する人材は豊富である。

現在も、自治医科大学看護学部を訪問して、学生と交流や、学内の案内、医療機器の使用法の説明を受けたりする。このような経験はこの地区だからこそのものであり、貴重な体験でもある。

いつの間にか当たり前のように教師以外の大人が生徒とふれあう時代になった。これからもこのような取り組みは続くであろうし、さらに広がっていくことを期待してやまない。



第1回研修会・懇親会報告

5月16日（土）栃木市ニューアプロニーにおいて平成27年度下都賀地区生涯学習研究会総会並びに第1回研修会が開催されました。研修会は、「今後の社会教育行政を推進する方向性から『チーム学校』等に関する最近の国の動き」について国立教育政策研究所社会教育実践研究センターの井上昌幸社会教育調査官が御講演くださいました。国の社会教育の動向や私たち有資格者等（地域連携教員を含む）への大きな期待を知る貴重な機会となりました。

様々な気づきのある研修会となりました。



◇第2回研修会案内◇

第2回研修会

「下都賀地区ふれあい学習研修会」

～ステップアップ研修Ⅰ～

◇日時 平成27年11月20日（金）

13:30～16:30

◇場所 小山グランドホテル

（小山駅西口 車で5分）



【懇親会】

※研修会場と同じ

◇時間 17:30～19:30（予定）

◇会費 5,000円

※申込みにつきましては別紙にてお願いいたします。

編集後記

この度の関東・東北豪雨により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。下都賀地区も大きな被害を受けましたが、地域のつながりが被害を最小限に食い止め、また復旧復興に向けての原動力にもなっています。

この機関紙も会員の皆様同士のつながり、「ネットワーク」の再確認、構築の一助となれば幸いです。

(N)